

# 平成 27 年度 事業報告

## 1、事務局

### 1) 会議の開催

- (1) 代議員総会 1回 (平成 27 年 5 月 22 日)
- (2) 代議員総会報告 1回 (平成 27 年 5 月 23 日)
- (3) 理事会 2回 (平成 27 年 5 月 22 日・10 月 11 日)
- (4) 支部長連絡会 1回 (平成 27 年 5 月 22 日)
- (5) 常任理事会 1回 (平成 27 年 9 月 6 日)
- (6) 東洋療法研修試験財団評議員会・生涯研修検討委員会・作業部会への参画
- (7) あはき等法推進協議会への参画
- (8) 国民医療推進協議会への参画

### 2) 事務処理及び管理

- (1) 葵税理士法人との決算処理作業
- (2) 法人業務及び会計に係る報告書の提出
- (3) 関係省庁・関係学会等に対する各種要望書の提出と要望活動の実施
- (4) 各支部から提出された平成 26 年度事業報告・決算報告等の整理・管理
- (5) 諸会議に係る企画立案と文書作成

## 2. 組織局

### 通年業務

- 1、会員登録（入会・変更・退会）記載  
(平成 27 年 10 月 10 日現在の会員数その他の報告)
- 2、会友・休会申請  
(申請者承認の件)
- 3、ホームページ上の支部会員等の記載  
(随時実施中)
- 4、平成 27 年度運動療法機能訓練技能講習会修了者並びに認定試験合格者会員  
管理入力  
(現在なし)
- 5、ダイレクトメールの管理・修正・処理  
(随時実施中)

### 前期業務

- 1、平成 27 年度役員名簿製作
- 2、平成 27 年度支部会員名簿配布

### その他の業務

- 1、理療・広報返却郵便物の調査・修正・処理

- 2、CD・デイジー修正・登録
- 3、組織改革委員会からアンケート項目の作成
- 4、会員登録証について
- 5、平成 26 年度組織局報告書

### 3、情報管理局

以下の年度当初計画業務は順調に進捗しているが、業務委託しているホスティングサービスについて、委託業者経営状態悪化のため委託先変更の検討が必要になる事も予想される。。

#### 1) 情報管理業務

- (1) ホスティングサービス〈業務委託〉運用・及びシステム開発  
会員管理システム・財務処理システム
- (2) 会費管理システム 管理・運用  
会員管理クラウド・財務会計クラウドシステムの管理・運用  
支部・地方会へのシステム使用方伝達・支部・地方会のデータ集約
- (3) 各種文書管理（文書ファイル管理・各講習会映像等のDVD化）
- (4) メール配信業務  
理事・地方会・支部連絡用アドレス管理
- (5) 各種証書作成（技能認定登録制度・技能講習会 etc）
- (6) 財務処理対策  
財務関連業務・予算・決算 資料提供
- (7) 会費納入状況調査
- (8) 会費納入規定整備

#### 2) 会員証作成と配付

株式会社ジェーシービーと提携 会費納入 etc

#### 3) ホームページ管理業務

- (1) デザイン・コンテンツの整備・運用
- (2) データライブラリの整備・拡充
- (3) リンク集整備（各県支部・公共機関・関連情報等）
- (4) 技能認定登録者名簿の掲載  
四半期ごとに掲載
- (5) 会員専用談話室管理（参加者管理・投稿管理）
- (6) 協会広報掲載（PDF）

### 4、保険局

保険局では、平成 27 年度の事業計画に基づき、積極的に要望活動を行っている。  
現時点の経過を報告する。

- 1) 厚生労働省保険局医療課への要望

平成 27 年 7 月 1 日（水）に、厚生労働省保険局医療課課長並びに担当者に対し、診療報酬改定に係る要望を行い、併せて、老健局老人保健課及び振興課の課長、担当者に介護報酬に関連する要望を行った。

2) 中央社会保険医療協議会（中医協）への要望

平成 27 年 7 月 29 日（水）に、日本医師会館において中医協委員と面会し、診療報酬改定に係る要望を行った。

3) 日本臨床整形外科医学会への要望

平成 27 年 9 月 12 日（土）に、日本臨床整形外科医学会理事長と面会し、診療報酬改定（運動器リハビリテーション料の格差是正）に係る理解と協力を求めた。

各要望に先立って保険局会議を開催し、要望書及び参考資料を取りまとめると共に、要望時に想定される質問などについて、対応を協議した。

その後、改定のスケジュールに合わせ、中医協から発出される資料を順次検索、平成 28 年 1 月 27 日に「個別改定項目について」の最終案が示され、2 月 10 日に改定が答申された。答申の詳細は、即日協会ホームページに掲載した。

本協会（技能認定登録者）関連では、廃用症候群及び維持期リハビリテーション料等で厳しい改定となった。詳細は、通則の解釈通知と併せ、広報及びホームページで周知する。

## 5、学術局

（全般）

- 1) 第 64 回理学療法学会を平成 27 年 5 月 23 日（土）・24 日（日）愛媛県松山市に於いて開催した。
- 2) 第 65 回日本理学療法学会準備委員会との打ち合わせ 1 回 松山市
- 3) 運動療法機能訓練技能講習会を近畿地方会、神奈川県支部で開催中

（教育部）

- 1) 第 38 回理学療法指導者講習会準備会開催 2 回 広島市
- 2) 第 38 回理学療法指導者講習会を平成 27 年 10 月 3 日（土）・4 日（日）広島大学病院に於いて「脳血管疾患に対する理学療法」—維持期の症状に対する治療とその理論と実技—と題して開催した。講師：広島大学病院リハビリテーション科教授木村浩彰先生他 3 名の理学療法士。30 支部 35 名の受講者があった。
- 3) 第 38 回理学療法指導者講習会の DVD 作成中

（研究部）

- 1) 学術研修資料の収集

（理療出版部）

- 1) 原稿依頼、収集、校正の編集業務
- 2) 理療編集会合開催 1 回 協会事務所
- 3) 理療発行

Vol 45 No.1 (173 号) 2100 部

Vol 45 No.2 (174 号) 2100 部

## 6、財務局

- 1) 会費納入状況（9月10日現在）
  - (1) 納入者 1,446名、未納者 410名（会員数 1,856名）。
  - (2) 過年度の納入状況
    - 25年度 納入者 20名、未納者 48名。
    - 26年度 納入者 21名、未納者 56名。
- 2) 財務業務
  - (1) 定期的に葵税理士法人と財務作業を行っている。  
内閣府の会計監査が入ることを前提に、各支部・地方会にはこれからも財務作業に対する理解と協力をお願いしたい。
  - (2) 3か月ごとの決算業務は、第2四半期まで終了した。
  - (3) 各支部・地方会、各地方学会の交付金の交付を完了した。
  - (4) 平成25年度、26年度の会費未納者へ対する請求を行った。
  - (5) 事業執行に大変支障をきたしているため、会費は、期限内に納入して頂きたい。

## 7、広報部

- (1) 広報221号の編集、発行（平成27年7月）
- (2) 広報222号の編集、発行（平成27年10月）
- (3) 広報223号の編集、発行（平成27年12月）
- (4) 広報224号の編集、発行（平成28年3月）

## 8、特殊出版部

- 1 理療「音声対応CD」No.173号 61部  
理療「音声対応CD」No.174号 62部  
理療「音声対応CD」No.175号 77部  
理療「音声対応CD」No.176号 作製中
- 2 理療「デイジー図書」No.173号  
理療「デイジー図書」No.174号  
理療「デイジー図書」No.175号  
理療「デイジー図書」No.176号
- 3 広報「CD版」No.221号 43部  
広報「CD版」No.222号 43部  
広報「CD版」No.223号 49部  
広報「CD版」No.224号 作製中
- 4 広報「デイジー」No.221号 37部  
広報「デイジー」No.222号 37部  
広報「デイジー」No.223号 38部  
広報「デイジー」No.224号 作製中

9、技能認定登録制度委員会

- 1) 平成 26 年度 単位取得講習会報告書の審査及び承認単位通知書の発行。
- 2) 技能認定登録及び技能認定登録更新（再更新を含む）等の遂行。
- 3) 特定認定登録者について、規程の変更を理事会で審議を依頼する。

10、運動療法機能訓練技能講習会委員会

- 1) 神奈川県支部、近畿地方会の 2 会場で開催した。
- 2) 視聴覚教材の整理  
中部会の協力により、視聴覚教材を補完した。
- 3) 第 23 回 技能認定試験の実施（平成 28 年 2 月 14 日）。
- 4) 開催方法の検討をおこなったが、結論には至らず継続審議する。

11、表彰選考委員会

10 月 18 日に札幌市で開催された「北海道支部創立 65 周年記念式典」24 名、同日に新潟市で開催された「新潟県支部立 60 周年記念式典」5 名、11 月 14 日に滋賀県草津市で開催された「第 35 回近畿理学療法記念学会」に 1 名の協会長賞の選考を行った。

以 上